

看護専門科目	広域発展看護学					
看護学科	必修	1単位	実習	平成30年度	後期	3年次
科目名	広域発展看護学実習 I Nursing care of patients in home living (Nursing practice)					
担当教員	◎奥田真紀子 高橋 晶 阿部 奈理					
目的	地域で生活する高齢者や在宅療養者を支える医療・保健・福祉の多職種連携における看護の役割と継続看護、および包括的な介護予防支援を学ぶ。					
目標	1) 外来や退院調整等における看護の役割を理解できる。 2) 地域包括支援センター等の活動の実際を学び、地域住民へ果たす役割と機能を理解できる。 3) 在宅療養者を支える医療・保健・福祉の連携の実際を知り、継続看護の必要性と看護の役割を理解できる。 4) 主体的に対象者に配慮して、実習に取り組むことができる。					
他科目との関連	特に広域発展看護学概論、広域発展看護学実践論 I・II と密接に関連する。					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	記録等	記録等評価				0.7
	その他	その他評価				0.3
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	なし					
参考資料	適宜指示する。					
備考 (受講上注意、 事前学習等)	1週間のうち、2～4名ずつ、地域医療連携室/入院案内センター1日、地域包括支援センター1日、地域包括ケア広場で2日、実習する。グループにより順不同。 実習部署によってはオリエンテーションを別日に設定しているため、スケジュールを随時確認すること。 体調の自己管理を十分に行い受講する。 自己学習の時間を活用しながら計画的に実習をすすめること。					